

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	文化会館大規模改修事業	会計	一般会計	事業No.	800	施策順No.	27-013
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-7-10-3		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	文化会館		
施策	27 文化芸術の振興			事業期間	開始	21	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①市民 ②利用者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		住民登録人口		106483	105811	105036	107000	
		延べ利用者数		176835	157661	165053	170000	
意図	安心して安全に利用できる施設に整備する							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	大規模改修に関わる施設・設備のクレーム・要望件数		3	1	1	0	1	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価あり】	適切な整備を実施したことにより目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	老朽設備等の更新 1. 飯田文化会館ホール (1) 音響設備更新工事(22年度) (2) 舞台照明設備更新工事(24年度) 2. 飯田人形劇場 (1) 舞台照明設備更新工事(21年度) (2) 冷暖房設備更新工事(23年度) (3) 音響設備更新工事(25年度)		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 文化会館ホール音響設備機器及び音響用電源設備更新工事一式 音響設備機器更新 音響調整卓・移動型機器類・I/Oパッチ盤架・パワーアンプ架・音響操作ワゴン・スピーカー類 マイクホン類・インターカムシステム他、以上更新に伴う配管・配線工事一式 音響用電源更新 高圧設備・低圧電源設備・設置工事 他	1 設備機器更新 音響用電源更新	1 1式 1式
23年度実施計画	1 人形劇場冷暖房設備更新工事 開館から22年が経過し、老朽化に伴う故障が相次ぐ冷暖房設備を全面的に更新する 従来のガス吸収式空調システムから環境負荷が低い電気によるヒートポンプ式パッケージエアコンへの転換を図る 併せて、利用者からの要望が多いホール客席前部及びロビーへの吹き出し口増設を行なう 空調設備更新工事 空調機器設備工事・配管ダクト設備工事・冷暖房設備工事、撤去及び補修工事 受変電設備工事・幹線 動力設備工事・コンセント設備工事・電気設備撤去工事	1 空調設備更新 受変電設備設置	1 1式 1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	(国) 地域活性化・公共投資臨時交付金(10/10) 74,000千円 (そ) 繰越金 19,000千円 21→22 繰越明許費93,000千円 22→23 繰越明許費 28,000千円 (国) 地域活性化・きめ細やかな交付金(10/10) 25,000千円
	特定財源内訳、補足事項	県支出金	99,000	74,000		
		起債				
		その他	19,000	18,190		
		一般財源	3,000		27,443	
計 (A)	121,000	92,190	27,443			
正規職員所要時間			200			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			715			
トータルコスト A+B			92,905			

4 事業に対する市民や議会の意見

議会:施設の老朽化による整備や見直しを検討していく必要がある。
議会会派の要望:「県立文化会館」を市内に建設するよう県に働きかけること。
:文化会館等の建設のため将来を見越した基金の設立を図ること。
市民の要望、意見:新しい施設、広い駐車場を。人形劇場の空調が効かない。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】【記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでも気軽に親しむ ②自己表現の機会が得られる	施策の成果指標又はムトス指標	①文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	文化会館及び飯田人形劇場の大規模改修を計画的に進めることにより、施設利用者が安心・安全な環境で文化芸術活動に親しむことができるとともに、より質の高い自己表現の場を得られた。		
	後期に向けた課題	引き続き予算の範囲内で計画的に改修を進める。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	施設利用者のニーズと施設・設備の老朽化の度合いを踏まえた改修計画を立て、予算の範囲内で大規模改修に取り組んできた。		
	後期に向けた課題	常に計画内容の見直しを行い、適切な改修となるよう努める。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	一般競争入札の方法を導入することによりコストの削減に努めてきた。		
	後期に向けた課題	引き続き、コスト削減に向けて努める。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	施設利用料は市7割・利用者3割の負担割合で平成16年度に改定を実施。その後平成20年度が見直しの時期であったが経費等の積算に大きな変動がなく、全国類似都市等との比較でも平均的水準であることから改定は見送り現在に至っている。市が建設・設置し、管理している舞台芸術振興に不可欠な施設であるため、市が必要な改修を行うことは適当である。		
	後期に向けた課題	大規模改修が完了した時点で、改めて施設利用料の見直し検討を行う必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	昭和47年に文化会館を開館後39年、昭和63年に飯田人形劇場を開館後22年を経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるため、予算の範囲内で計画的な大規模改修を行い、安心して安全に利用できる施設環境の整備を整えてきた。 市民、議会から施設の建替えを含めた要望が出されている。		
	後期に向けた課題	引き続き、予算の範囲内で計画的な大規模改修を進める必要がある。 また今後の文化芸術施設のあり方に関する研究を進める必要がある。 「文化会館施設整備事業」「文化会館大規模改修事業」「文化会館維持管理事業」「ホール業務・受付業務委託事業」は、対象と意図が同一なため、統合して一つの事業として進行管理する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------